

美里  
愛してる…

全部僕に  
任せて…



服、脱がすぞ



ふあい…  
せんせ…  
♡♡

全く抵抗なし、か  
まあここまででは  
予想通りだな



「いつか」時「も」  
想定して



生徒からは  
慕われるように  
演じてきたが

この子は特に  
懐いていたからな



給食費の件で勝手に  
孤立してくれたのも  
運が味方している



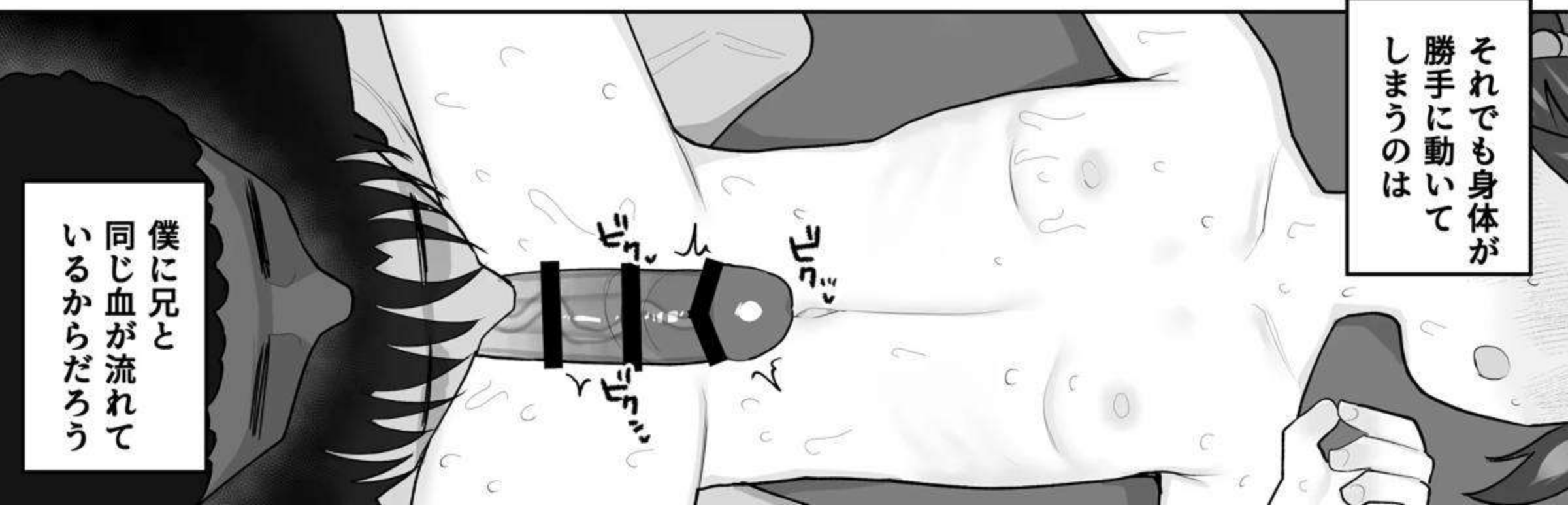
しかし  
口封じが容易そう  
だからといって  
こんな不必要なリスクを  
自ら負いにいくなんて

せんせ…  
だめ…だべ♡

全く自分でも  
驚いている

そんな「  
きたな…っ♡

は♡



それでも身体が  
勝手に動いて  
しまうのは

僕に兄と  
同じ血が流れて  
いるからだろう

身体が発達途上の  
女兒との性交は

はっきりいって  
気持ちいいもの  
ではなかった

痛むかい？  
美里

ん…ッ大丈夫…  
先生は気持ちいい？

ああ…  
とても  
気持ちいいよ

膣が浅く  
陰茎の全ては  
収まらない上

締め付けが強すぎて  
気持ちいいというより  
痛さが勝る

しかし…

甲高い  
あえぎ声

陰茎が火傷  
しそうなほど  
高い体温

骨ばった身体に  
はりつく薄い  
筋肉の手触り

これらは  
女兒相手の行為  
でしか味わえない  
特別な愉悦だ

兄がああまで  
嵌っていたのも  
少し頷ける



そろそろ射精そうだ…  
流石に膣内射精は  
リスクが高すぎるな

一旦抜くか…

せん…せん…

これ…  
やだ…

はほ

はなご

じぬ…  
しんじやう…  
からん

はなご

はなご

はなご

はなご

はなご

はなご

はなご

はなご

はなご

はなご





やれやれ：  
僕もまだ未熟だな

やってしまった  
ものは仕方がない

膣内の精子の  
DNAが劣化する  
までの期間は…

ここまで従順なら  
適当な誰かと関係を  
持たせてから…

